

第36回政府現地対策本部会議、第39回熊本県災害対策本部会議 議事録

日時 平成28年6月14日（火） 16：30～

場所 県庁新館8階 職員研修室

■ 前震の発生から2カ月。出席者で黙とう

12日の22時08分、13日15時54分、八代市の坂本において震度5と震度4の地震が発生。

情報収集また、庁内情報連絡会議を開催し、情報共有を行った。

特に被害は確認されていない。

1 地震の状況

(別途気象台から報告)

2 被害の状況

(1) 人的被害について、死者行方不明者は前回の本部会議報告から変更なし。

(2) 住家被害の状況について、全壊、半壊、一部破損合計141,970棟、調査継続中。

(3) 避難の状況について、20市町村、124ヶ所の避難所において、6,211人の方が避難されている。

(4) 避難指示等の発令状況について、現在、避難指示が2市町、避難勧告が6市町村で発令中。

(5) 罹災証明書の状況について、受付件数が35市町村で147,289件。二次調査依頼件数27市町村で24,602件。交付件数34市町村で104,745件。

3 県等の対応状況

(総務部)

被災市町村等への人的支援状況については、資料のとおり。

(健康福祉部)

被災者に係る医療・介護の一部負担金・利用料の免除について、九州各県医療機関等を含め、改めて周知徹底を実施。

義援金、本日付で、210億円余り。

生活総合相談窓口として、益城町において、協力団体と連携し、生活総合相談の受付を開始。(6月13日に開設)

仮設住宅については、合計16市町村65団地2,951戸の着手。

(環境生活部)

昨日の地震の影響により、八代市で17戸濁水により断水。給水車により対応中。

(教育庁)

資料のとおり。

(県警本部)

これまでどおり避難所における防犯指導や、被災地の活動を行っている。

#### 4 国等の対応状況

(気象台)

6月9日に地震調査委員会が開催。「平成28年(2016年)熊本地震」についてのとおり)

6月12日の震度5弱の地震について(平成28年6月12日22時08分頃の熊本県熊本地方の地震)のとおり)

天気の予想について、現在雨の予想は16日、雨量は100ミリ前後を予想。前線の北上の状況によって変化することはあるが、場合によっては、15日午前中に、大雨に関する気象情報を発表する場合もある。

#### 5 政府現地対策本部長の発言

(松本副大臣)

14日は私たちにとって、忘れることのできない日。5月14日を迎え、そして今日、6月14日、2か月が経過した。この間、国・県・市町村の皆様の御協力、「チームくまもと」が懸命に取り組んできた、復興への道、一つずつ着実な成果を上げている。それでもなおまだ、被災された方々の御苦労は続いている。一日も早くなんとかしなければならぬ、こういう思いを共有しているところ。

18万人を超えていた避難者の皆さんの数は6,000人台になった。この現在の重要課題、この避難者の依然として、避難生活を余儀なくされている方々、この方々に一日も早く、安心できる住まいに入居をいただく、これが今一番の課題だと思っている。公営住宅の入居、借り上げ、みなし、仮設住宅等々を進めながら、そしてまた、仮設住宅の完成・入居、こういったことも始まっているが、来月何としてでもおおむねの方々の住宅の用意をしたい。遅くとも7月中にはこの避難者の方々に住宅を用意したい。私達が進めてきた計画、自分たちがやっている今の仕事のスピードアップを図りながら、自信を持って対応していただくよう、心からお願いを申し上げる。

本日閣議で熊本地震復旧等予備費の第二弾として、590億の費用を決定した。「できることはすべてやる」この姿勢を堅持し、最後まで貫きたい。よろしく願います。なお、明日15日には河野防災担当大臣が当地を訪れて、避難所の環境改善、仮設住宅の確保、二次災害防止対策など、現地の状況を確認させていただくこととなっている。

る。この大臣の視察を踏まえて、16日に非常対策本部会議を開催し、課題、必要な取組を改めて、共有したいと考えている。2か月間本当に皆様感謝する。これから1か月、新しいステージの正念場。これからもよろしくお願い申し上げます。

## 6 県災害対策本部長の発言

(蒲島知事)

未曾有の大災害となった熊本地震は、4月14日の発災から今日で2カ月を迎えた。この間、国の人的、財政的支援をはじめ、全国の自治体等からたくさんの応援をいただいた。この他に、一般の方々からも、義援金や救援物資、ボランティア等の温かいご支援をいただいた。心から感謝申し上げたい。

皆様のご支援もあり、ピーク時に20万人近くあった避難者数は、6千人余りとなっている。

また、仮設住宅も、最初の着工から一月半が経って、既に232戸が完成し、新たな生活がスタートしている。

このような中、熊本地震に対応する国の補正予算の予備費について、先月の1,023億円に続き、本日590億円の執行が閣議決定された。国の迅速な対応に感謝申し上げます。

一昨日、八代市で震度5弱の地震が発生するなど、当面は余震と大雨に警戒しながらの復旧・復興が続く。

引き続き、国からのご支援などもいただきながら、「チームくまもと」として、一丸となって頑張っていきたいと思う。皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

(以上)